

授業科目 英語 II (火曜 2 限 HS)

【担当教員名】 山田 栄	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・義肢・臨床・視機・健栄・スポ・社会・看護・情報
	開講時期	後期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎		○

【一般目標：GI0】
英語のテキストを読むだけでなく、様々な言語活動を通じて基礎的英語力を多角的に補強し、実践的なコミュニケーション能力を育成する。テキストは健康に関する話題を取り扱う。様々な演習や言語活動を通して、情報を読み取る読解力、基本的な語彙の習得、話す・聞くの基本的な運用能力、英語使用に対する忌避感の払拭等を考慮して学習する。

【学習目標】
1. QOL 関連の内容が書かれた文章の概略を、辞書を参照しながら自分の言葉で述べるができる。
2. QOL 関連の事柄を、辞書参照や他のストラテジーを駆使しながら、英語の基本語順で表現することができる。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	ユニット 5	1.2	講義と演習 小テスト
2	ユニット 5、アドバンススタディ 1	1.2	講義と演習、小テスト
3	ユニット 5、アドバンススタディ 1	1.2	講義と演習、小テスト
4	ユニット 6、アドバンススタディ 2	1.2	講義と演習、小テスト
5	ユニット 6、アドバンススタディ 2	1.2	講義と演習、小テスト
6	ユニット 7、アドバンススタディ 3	1.2	講義と演習、小テスト
7	ユニット 7、アドバンススタディ 3	1.2	講義と演習、小テスト
8	ユニット 8、アドバンススタディ 4	1.2	講義と演習、小テスト
9	ユニット 8、アドバンススタディ 4	1.2	講義と演習 小テスト
10	ユニット 9、アドバンススタディ 5	1.2	講義と演習、小テスト
11	ユニット 9、アドバンススタディ 5	1.2	講義と演習、小テスト
12	ユニット 10、アドバンススタディ 6	1.2	講義と演習、小テスト
13	ユニット 10、アドバンススタディ 6	1.2	講義と演習、小テスト
14	ユニット 5～1、アドバンススタディ 1～6 の確認テスト	1.2	テスト
15	ユニット 5～10、アドバンススタディ 1～6 の確認テストの解答と解説、期末試験（後期の授業内容全体から出題	1.2	講義、テスト

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	How to Stay Healthy	Julie Penn 他	Oxford University Press	715 円＋税
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況、授業態度、毎回の小テストの得点など、授業内の評価を 40%、期末試験の得点を 60%として、両者を合算し、総合的に評価する。	【履修上の留意点】 前期を踏まえて、テキストの読解・問題演習・確認作業のスピードが上がるのと同時に、学習内容の分量が大幅に増加します。予習はやってあることが前提となります。
---	---